



逆瀬台小学校区  
10,000人のまちづくり

# ゆずり葉だより

編集・発行／ゆずり葉 コミュニティ 事務局・広報 〈発行部数〉4,700部  
 〈住所〉〒665-0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号 宝塚市立逆瀬台小学校内  
 〈Eメール〉yuzurihacom@a.zaq.jp 〈連絡先〉中村 TEL 72-5644  
 〈掲示板〉http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs (自由投稿版)  
 〈ブログ〉http://www.hnpo.comsapo.net/yuzuriha/  
 〈ホームページ〉http://yzrh.exblog.jp/ 〈TEL/FAX〉0797-73-8839

でく  
健  
明  
ら  
しい  
樂  
ま  
ち  
づ  
く  
り



春 第71号



地域の魅力づくり、②環境自然環境、住環境の調和と形成。  
 ③市民生活の向上(周辺地域への貢献等)などの趣旨に沿った  
 民間事業者の柔軟な発想と企  
 画により公募されました。3月  
 月28日に選考委員会を開催し、  
 合的に評価して事業者が決定  
 される予定です。なお、選考結果の公表は、4月上旬  
 の予定です。

## 平成25年度定時役員会(総会)を 4月28日(日)午前10時から開催します オーブンな会議ですから、奮つてご参加ください

ゆずり葉コミュニティの定期役員会を「ゆずり葉コミュニティルーム」で標題とのおり開催します。議題は、平成24年度の活動報告と会計決算監査報告ならびに平成25年度の役員選任委員選出および事業計画と会計予算の審議・承認です。平成24年度の活動報告と会計決算の概要是次のとおりです。

ガル要項の方針は、①新たな地域の魅力づくり、②環境自然環境、住環境の調和と形成。  
 ③市民生活の向上(周辺地域への貢献等)などの趣旨に沿った  
 民間事業者の柔軟な発想と企  
 画により公募されました。3月  
 月28日に選考委員会を開催し、  
 合的に評価して事業者が決定  
 される予定です。なお、選考結果の公表は、4月上旬  
 の予定です。

行政と合計35回の話し合いをして、内容はその都度、広報紙で詳細に報告してきました。最終的な土地利用のプロポーザル要項の方針は、①新たな地域の魅力づくり、②環境自然環境、住環境の調和と形成。  
 ③市民生活の向上(周辺地域への貢献等)などの趣旨に沿った  
 民間事業者の柔軟な発想と企  
 画により公募されました。3月  
 月28日に選考委員会を開催し、  
 合的に評価して事業者が決定  
 される予定です。なお、選考結果の公表は、4月上旬  
 の予定です。

## プロポーザル要項による公募実施 地域密着型の企画提案を受けた

逆瀬台1丁目市有地の運用事業者選考

# 平成24年度活動報告

## 全体活動事業

### (1) 定時役員会

平成24年4月29日(日)に開催。

役員19名、非議決権者9名出席。平成

23年度活動報告・会計決算・監査報告の承認を受けた。平成24年度役員選任

・委員選出。事業計画・会計予算の審議と承認。



### 滋賀県近江八幡市から観察

平成25年2月13日(水)、宝塚市立勤労市民センターに近江八幡市金田学区まちづくり協議会から30名が観察に来訪。ゆずり葉コミュニティから宝塚市の市民活動について説明。

### (6) 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会

平成24年6/5(火)、7/24(火)、9/6(木)、10/9(火)、11/7(水)

平成25年1/23(水)、2/26(火)、7/1(土)

平成25年6/16(土)、9/8(土)、12/8(土)、平成25年2/9(土)

平成24年6/16(土)、9/8(土)、12/8(土)、平成25年2/9(土)

### 逆瀬台自治会 自主防災訓練実施



## 平成 24 年度会計決算報告

(単位:円)

収入の部	予算額	実績額	摘要
前年度繰越金	71,388	71,388	平成 23 年度からの繰越金
市の補助金(1)	386,000	386,000	助成金交付要綱第 5 条 1~3 号
市の補助金(2)	170,000	170,000	助成金交付要綱第 5 条 4 号
社協の助成金	177,000	177,000	福祉 C 支援事業助成金
ふれあいきいきサロン	30,000	30,000	「ゆずり葉シニアサロン」社協助成
協賛金	110,000	109,900	7 管理組合、エデンの園
広告収入	178,000	198,120	ゆづり葉だよりの広告料
雑収入	100	43	利息
合計	1,122,488	1,142,451	
支出の部	予算額	実績額	摘要
活動費	190,000	182,653	組織運営、地域課題事業
広報紙・HP 事業費	448,000	442,622	広報紙年4回発行
市の補助金(2)支出	170,000	174,570	祭り・文化・技能祭の絆づくり福祉
社協の助成金	177,000	180,880	C 支援事業費
ふれあいきいきサロン	30,000	35,400	「ゆづり葉シニアサロン」継続事業
会議室等使用料	2,000	1,200	7 自治会、7 管理組合、エデンの園
プリント・コピー・文具代	30,000	35,874	ニティールームで引き取り、全戸配布
予備費	75,488	0	た。また、外部配布は、行政関係、小・中・高の各校、中央・西図書館、工デ
小計	1,122,488	1,053,199	ンの園、てくてく、せいかい逆瀬台
次年度繰越金	—	89,252	デイサービスセンターに配布した。
合計	1,122,488	1,142,451	ゆづり葉まつりや逆瀬台小学校運

\*\*\* 拠点施設運営協力積立金特別会計 \*\*\*

拠点施設運営協力積立金	23年度残高	収入	支出	残高
24年度	576,609	61,697	0	638,306

## 宝塚市まちづくり計画に位置付けられた地域事業補助金

- ①逆瀬台文化祭（音楽会・展覧会・お茶会）120,000 円
- ②逆瀬台桜まつり 30,000
- ③芦屋大学人形劇公演 20,000
- ④ゆづり葉まつり 4,570
- (合計) 174,570

## 宝塚市社会福祉協議会の福祉コミュニティ支援事業助成金

- ①福祉活動広報費 72,571 円
- ②白瀬川文化教室 30,000
- ③子ども英会話・寄席 27,429
- ④伝統文化いけばな子ども教室 20,880
- ⑤サロン遊楽里・西山 10,000
- ⑥サロンなごみ 10,000
- ⑦サロンアヴェルデ 10,000
- (合計) 180,880

平成 25 年度の事業計画および会計予算につ  
いては、平成 24 年度の実績とほぼ同様のため  
平成 25 年度の事業計画を省略しました。  
掲載をいたしました。

## 1 頁から続く

## 事務局活動事業

## 書記委員

- 役員会のレジュメ資料は、会議開催日の 20 日前に作成し、役員 19 名と関係委員に配布した。議事録は詳細に記録して会長に届け、次回役員会で全員に配布した。

## 広報委員

- 経費削減を図って、印刷業者を変更し、年 4 回、B4 版 4 面、カラー印刷で発行した。

## 広報紙の配布

- 年度当初に 1 年間の配布日時を設定し、校区を網羅する 7 自治会長、7 マンション理事長又は担当者がコミュニティールームで引き取り、全戸配布した。また、外部配布は、行政関係、小・中・高の各校、中央・西図書館、工デの園、てくてく、せいかい逆瀬台の園、で音響ボランティアが器材を持参し、放送業務を担当した。

## 経理委員

- 支払の請求があれば、出納は書類を確認して迅速、正確に行なった。補助金の申請と報告書は、行政マニュアルに従つて、説明責任が果せるよう作成・提出した。

- 支払の請求があれば、出納は書類を確認して迅速、正確に行なった。補助金の申請と報告書は、行政マニュアルに従つて、説明責任が果せるよう作成・提出した。

比較的ゆとりがあるので有効活用を図つていく。

## 施設委員

- 活動拠点ゆづり葉コミュニティールームの利用状況は、延べ 616 時間／年であった。午前中の利用は、比較的ゆとりがあるので有効活用を図つていく。

## 活動局活動支援事業

- (1) 地域交流事業

- ① 8 マンション管理組合で構成する

「白瀬川两岸集合住宅協議会」は、毎月第 3 日曜日に代議員が集まり

コミュニケーション会議を行なつた。

② シネマシアター上映会は、毎月数ヶ所の屋内会場や野外映画会を行ない、映画を通して親睦を図つた。

③ 自治会や老人クラブ、福祉活動委員会などが、桜祭り、夜桜の集い、盆踊り大会、夏祭り、納涼花火会、文化祭、音楽会、展覧会、絵画展、お茶会、もちつき、収穫祭など活発な事業を行い、住民の親睦、連帯意識の醸成と文化の高いまちづくりを進めた。

④ 地域における支え合い、見守り支援の仕組み作りに踏み切った。

## 子どもの健全育成・三世代交流事業

- 子供たちが歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深め、尊重する心を育み、豊かな人間性を涵養するため、平成 17 年度から毎月伝統文化いけばな子ども教室の活動を展開させている。

③ 子供たちが歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深め、尊重する心を育み、豊かな人間性を涵養するため、平成 17 年度から毎月伝統文化いけばな子ども教室の活動を展開させている。

④ ベットボトルのキャップを集め、「発展途上国の人子どもたち」にワクチンを贈る運動「エコキャップ運動」を推進した。

⑤ エコキャップ運動を進展させていた。

⑥ 健康・福祉ネットワーク事業

- ① 平成 24 年 10 月 7 日(日)、14 の構成団体の 33 名により実施した。

② 行者山東峰登頂ハイキングを毎週日曜日の午前に実施した。

③ ながらの健康ハイキングができるコースを開拓して、そのルート整備を行なつた。

④ 子どもたちを対象に大型紙芝居、ペギュユー、芋ほり、遊ぼう会などを野外で三世代のふれあい事業を実施した。

⑤ 子どもたちが歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深め、尊重する心を育み、豊かな人間性を涵養するため、平成 17 年度から毎月伝統文化いけばな子ども教室の活動を展開させていた。

⑥ 健康リズム体操、ゲートボール、卓球、太極拳、健康リズム体操、ゲートボール、健康教養講座・健康教室の出前講座などを活発に行なつた。

⑦ 住み慣れた地域での健康と安心を目指し、健やかでやすらぎに満ちた暮らしと、生涯にわたる健康づくりを推進した。ハイキング、卓球、太極拳、健康リズム体操、ゲートボール、健康教養講座・健康教室の出前講座などを活発に行なつた。

⑧ 介護予防事業として、敬老の日のお祝い訪問、高齢者相互の絆づくりを目指す食事会、ふれあいサロン(既に 8 マンションで実施中)、健康力アップオーセン、歌唱クラブ、ウクレレの会、手芸サークル、マージャン同好会などを実施して健康づくり、福祉ネットワーク事業を活性化した。

⑨ マンション群で、催事に際してのドアツドアの移動手段を実施した。

⑩ マンション群で「食の安全事業」としての直販実施

治会や管理組合で活発に取組んだ。

## (3) 防災・防犯推進事業

## 防災・防犯推進事業

- 当校区の高齢化率は 39% 超と市内最高となつた。安全で快適なまちづくりに住民の防災意識の高揚と自主的な防災、防犯運動を展開。また、育成会児童の見守り同伴下校のボランティア活動への参加の呼びかけを実施した。児童の登下校時に合わせての散歩や植木の手入れなど児童を見守る活動を行なつた。

① 「まちをきれいに」を合言葉に公園や川の清掃活動を行なつて自然を保護し、ミヤマアカネトンボやホタルを育て、その鑑賞用道路を整備した。

② 「花と緑の会」の活動は、各単位自

## (4) 環境美化推進事業

- 当校区の高齢化率は 39% 超と市内最高となつた。安全で快適なまちづくりに住民の防災意識の高揚と自主的な防災、防犯運動を展開。また、育成会児童の見守り同伴下校のボランティア活動への参加の呼びかけを実施した。児童の登下校時に合わせての散歩や植木の手入れなど児童を見守る活動を行なつた。

① 「まちをきれいに」を合言葉に公園や川の清掃活動を行なつて自然を保護し、ミヤマアカネトンボやホタルを育て、その鑑賞用道路を整備した。

② 「花と緑の会」の活動は、各単位自

- 然があり、高齢者・子どもたち家族揃つてできる健康新規づくりのための散策路があればと願つている。その整備を行ない、裏山の自然を観察しながらの健康ハイキングができるコースを開拓して、そのルート整備を行なつた。

② 行者山東峰登頂ハイキングを毎週日曜日の午前に実施した。

③ ながらの健康ハイキングができるコースを開拓して、そのルート整備を行なつた。

④ 住み慣れた地域での健康と安心を目指し、健やかでやすらぎに満ちた暮らしと、生涯にわたる健康づくりを推進した。ハイキング、卓球、太極拳、健康リズム体操、ゲートボール、健康教養講座・健康教室の出前講座などを活発に行なつた。

⑤ 介護予防事業として、敬老の日のお祝い訪問、高齢者相互の絆づくりを目指す食事会、ふれあいサロン(既に 8 マンションで実施中)、健康力

アップオーセン、歌唱クラブ、ウクレ

レの会、手芸サークル、マージャン

同好会などを実施して健康づくり、

福祉ネットワーク事業を活性化し

た。

⑥ マンション群で、催事に際してのド

アツドアの移動手段を実施した。

⑦ マンション群で「食の安全事業」と

しての直販実施

超高度化が進み急坂の多いベットタ

ウンである当地には、近隣に商店街もな

いため食品の直販に取組んだ。